

ダリアの「後処理」のススメ

～お客様に喜ばれる花を届けよう～

ダリアはこれまで生産者側で前処理剤の使用や段ボール箱の工夫等により日持ち性の向上に努めてきました。しかし、生産者側だけでなく、小売や消費者側で「後処理」を行うことで、さらなる日持ちと観賞価値の向上が得られましたので、ご紹介します。

【試験方法】

- 材 料 4月3日に収穫したダリア「アジタート」
 - 前処理 収穫から4月6日9時まで水揚げ剤^{※1}で処理（輸送期間を想定）
 - 後処理 4月6日9時に切り戻しし、以下の後処理を実施（小売店での管理を想定）
 - ①後処理なし（水浸漬のみ） ②花にスプレー剤^{※2}散布して水浸漬
 - ③水揚げ剤^{※1} 浸漬 ④花にスプレー剤^{※2}散布して水揚げ剤^{※1} 浸漬
- ※1：クリザール社ブルボサス（標準仕様 10g/1L）に砂糖 20g/L を加溶）
※2：クリザール社ミラクルミストを1花あたり5cc（5push）散布



後処理なし
（水浸漬のみ）

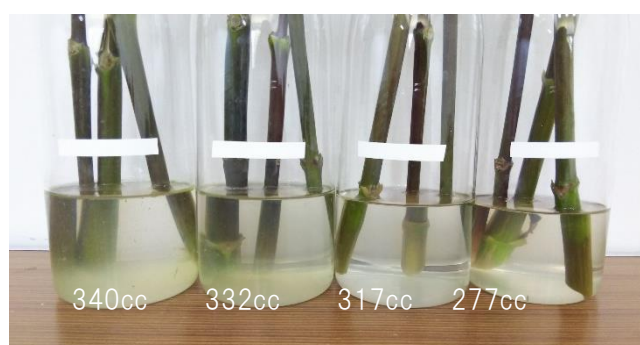
花に
スプレー剤

水揚げ剤
浸漬

スプレー剤
＋水揚げ剤

花持ちと花径の違い

1週間後の液残量（最初は500cc）



左から「水のみ」、「花にスプレー剤」、「水揚げ剤」、「花にスプレー剤＋水揚げ剤」の順
※品種・季節によって効果は異なります。品種によっては加糖による葉やけが生じる場合があります。

ダリアは「後処理」が非常に効果的な品目です。
～お客様に喜ばれる花を届けることで、お客様に愛される花屋へ～
ダリアの「後処理」に取り組んでみませんか？

【作成】 JA みなみ筑後 ダリア・リキュウソウ研究会